

# 令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(宝達志水町)立(志雄小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(荒牧 星児)

## 令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果	課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>児童教師両方ともに基本的なICTスキルが身に付いた。また、日常の一部としてICTを活用できるようになった。</li> <li>ICTの授業活用例が集まり、活用法や指導法が少しずつ蓄積できるようになった。</li> <li>授業のみならず、学校行事や児童会活動、HP配信など、幅広い分野でのICTの活用アイデアが出るようになった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>蓄積した活用例や指導法などをより効果的なものに分類、整理し、いつでも誰でもどの学年でもICTを効果的に使える体制整備やシステムの構築が必要である。</li> <li>ICTに対する意識差はほとんど見られないが、スキル面においての能力差を埋めたい。</li> </ul>

## 校内研修のアイデア

- 担当月を決めて、毎研究全体会でICT活用授業実践報告～教科とアプリのマッチング～
  - ①低中高各ブロックで教科ごとに付けたい情報活用能力を定める
  - ②上記の情報活用能力をつけるためのICT活用を学期単位で探求
  - ③長期休暇で効果的だった教科ごとの活用を精選
- 学期に一度、全職員での動画視聴と動画紹介
- 情報モラル研修

## 目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 児童**
- ICTを生活の中の身近なものとしてとらえ、基本的な操作を当たり前のようにできるようにする
  - 学年相応の情報モラルとマナーを身に付ける
  - 目的に合ったICTの使い方を選ぶことができる
  - よりよく話すためにICTを効果的に活用できる
- 教師**
- アカウントやクラス管理、フォルダの整理や管理、基本的な編集・加工の操作ができる
  - 児童の発達段階に応じた情報モラルやマナーを指導できる
  - ねらいや目的に応じてICTの使い方を考えたり工夫したりできる
  - より効果的にアウトプットするためのICTの使い方を探求できる

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>GIGAチーム組織</li> <li>研修の方向性の確認(全体研修)</li> <li>ICT管理やルールの確認(学習基盤チーム)</li> <li>アンケート項目の検討や作成の研修(マネジメントチーム)</li> </ul>	荒牧 荒牧 青山 山崎	
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科のねらいと付けたい情報活用能力のマッチング(低中高ブロック)</li> <li>効果的なICT活用の実践蓄積(授業研究チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>ICT実践報告(個人)</li> </ul>	各ブロック 荒牧 山崎 荒牧	要請訪問(八島)
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なICT活用の実践蓄積(授業研究チーム)</li> <li>指導主事参観・研究授業(全教員)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>ICT実践報告(個人)</li> </ul>	荒牧 全教員 山崎 八島	要請訪問(荒牧) A訪問(指定:井上)
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なICT活用の実践蓄積(授業研究チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>ICT実践報告(個人)</li> </ul>	荒牧 山崎 井上	要請訪問(辻本)
中間 目標	児童:目的に合わせ、アプリや使いかたを工夫して、学びにICTを生かすことができるようになる。 教師:ねらい達成という目的に合わせ、効果的なICT活用法を選ぶことができるようになる。		
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報モラル研修(全体)</li> <li>効果的なICT活用の蓄積とまとめ(授業研究チーム)</li> <li>ICTルールの見直し・スキルタイム見直し(学習基盤チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>動画視聴レポート(全教員)</li> </ul>	荒牧 荒牧 青山 山崎 全教員	
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なICT活用の実践蓄積(授業研究チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>ICT実践報告(個人)</li> </ul>	荒牧 山崎 辻本	要請訪問(中江)
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なICT活用の実践蓄積(授業研究チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>研究発表(低中高ブロック)</li> </ul>	荒牧 山崎 荒牧青山 辻津	要請訪問(井上) 研究発表会
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なICT活用の実践蓄積(授業研究チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>ICT実践報告(個人)</li> </ul>	荒牧 山崎 青山・辻津	要請訪問(中山)
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なICT活用の実践蓄積(授業研究チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>ICT実践報告(個人)</li> </ul>	荒牧 山崎 中江・中山	要請訪問(越野)
中間 目標	児童:論理的に思考・説明するために、ICTの使い方や操作を工夫し、効果的なアウトプットの為にICTを活用することができるようになる。 教師:論理的な思考やアウトプットの為に必要なICTの活用法を探究し、教科やねらいに合わせてICTを使い分けることができる。		
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なICT活用の蓄積とまとめ(授業研究チーム)</li> <li>ICTルールの見直し・スキルタイム見直し(学習基盤チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>動画視聴レポート(全教員)</li> </ul>	荒牧 青山 山崎 全教員	要請訪問(井表)
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的なICT活用の実践蓄積(授業研究チーム)</li> <li>アンケート結果分析(マネジメントチーム)</li> <li>ICT実践報告(個人)</li> </ul>	荒牧 青山 井表・越野	
3月	1年間のまとめ(全教員)		